

早期に判決を

大飯3・4号運転差し止め仮処分裁判

9月5日(水) 第5回審尋に集まろう

◆制御棒挿入時間の基準値は2.2秒

◆関電の「11秒まで安全」は、炉心溶融一步手前に人々を追い込む



9月5日(水) 関西電力を相手とする、大飯原発3・4号運転差し止め仮処分裁判の第5回審尋が、大阪地方裁判所で行われます。

裁判では、近傍にある3つの活断層が連動した時に、制御棒が基準値(2.2秒)内に挿入されるかが大きな争点となっています。関電は、「2.2秒を超える場合、設置許可上運転はできない」と認める一方、「約11秒までは安全」と主張しています。裁判所も、前回の審尋で、2.2秒を超えた時の具体的な危険性を問題にしました。関電の「11秒まで安全」は、炉心溶融一步手前に人々を追い込む危険なものです。通常、ギリギリの値が許されることはなく、そこから十分な安全余裕をとった値が基準値として設定されています。福島事故を受けてもなお、このような安全を切り縮める主張が許されてよいのでしょうか。この問題について、原告・被告双方が書面を提出し、5日の審尋に臨むことになります。裁判所が公正な判断を下すことを期待します。

今回も審尋の前に大阪地裁前でアピール行動を行います。たくさんの原告・支援者が集まって、大飯3・4号運転停止を求める意思を裁判所に示しましょう。

9月5日(水) 大飯原発3・4号運転差し止め仮処分裁判・第5回審尋

- ・集合 10:00 大阪地方裁判所正面玄関
- ・アピール行動 10:15~11:00 プラカード、横断幕等ご持参ください。
- ・審尋 11:00~ 大阪地裁506号法廷 今回は部屋の都合で傍聴は原告数名に限られます。
- ・審尋終了後、報告を行います。

8/29(水) 国相手の大飯原発3・4号運転停止裁判 第1回法廷が開かれました

原告・支援者約60名が大阪地裁1007号法廷を埋めました。今回は原告側から、福井県若狭町の石地優さん、福島事故により宮城から大阪に避難されてきた武藤北斗さんがそれぞれ意見陳述を行いました。

法廷後の武藤さんの感想から一部紹介します

前もって用意した陳述ですが、ただ読むだけでなく、心を込め、想いを込めて裁判長に訴えることができました。これも、たくさんの原告と傍聴人が僕の背中を支えてくれいると感じたからです。(中略)

裁判長にどれだけ伝わったのかは分かりません。ただ、どんな小さなことであれ、私たちはできることを実行していかなばなりません。自分達の信じる正義を貫き通し、訴えていくしかないと再認識しました。多くの傍聴者の出席は裁判長の正義の判決を支え、原告の弁護団を支え、意見陳述をする私にまでたくさんの元気を与えてくれたと思います。第二回法廷では私も傍聴席から無言の温かい想いで、わずかでも応援し支えていこうと思います。

陳述書は以下の大飯原発行政訴訟のページに掲載しています。ぜひご覧ください。

http://www.jca.apc.org/mihama/oisaiban/oisaiban_gyouso_room.htm

第2回法廷 10月19日(金) 11:30~ 大阪地方裁判所202号法廷(大法廷)

グリーン・アクション info@greenaction-japan.org

京都市左京区田中関田町 22-75-103 TEL 075-701-7223 FAX 075-702-1952

美浜・大飯・高浜原発に反対する大阪の会(美浜の会) mihama@jca.apc.org

大阪市北区西天満 4-3-3 星光ビル3階 TEL 06-6367-6580 FAX 06-6367-6581

2012.8.31

Arnie Gundersen
アーニー・ガンダーセン

講演会

福島原発事故から学ぶ

すべての原子力関係者が、学ばなければならないこと



9/3
18:00~20:45
ハートピア京都
500円
通訳あり

アーニー・ガンダーセン (Arnie Gundersen) プロフィール:

1949年生まれ。米国の原子力技術者、エネルギー・アドバイザー。レンセラー工科大学修士課程修了。エンジニアとして全米で原子炉の設計、建設、運用、廃炉に携わり、エネルギー省の廃炉手引き(初版)の共著者でもある。原子力業界の重役を務めた後に妻のマギーと設立したフェアウィンズ・アソシエイツ(現在、Fairwinds Energy Education)は、原子力発電に関する調査分析や、訴訟・公聴会において専門家としての意見提供を行っている。3.11直後、世界でいち早く福島第一原発がメルトダウンしていることを指摘した。4号機の核燃料プールの現状を注視している。著書に『福島第一原発-真相と展望』(集英社新書)

日時: 2012年9月3日(月)

18:00(18:15開演)~20:45

会場: ハートピア京都 大会議室

京都市中京区竹屋町通烏丸東入清水町375

講師: アーニー・ガンダーセン

参加費: 一般500円・学生300円

中学生以下無料

協賛団体: ストップ・ザ・もんじゅ / 玄米と旬の野菜 MOMONAGA

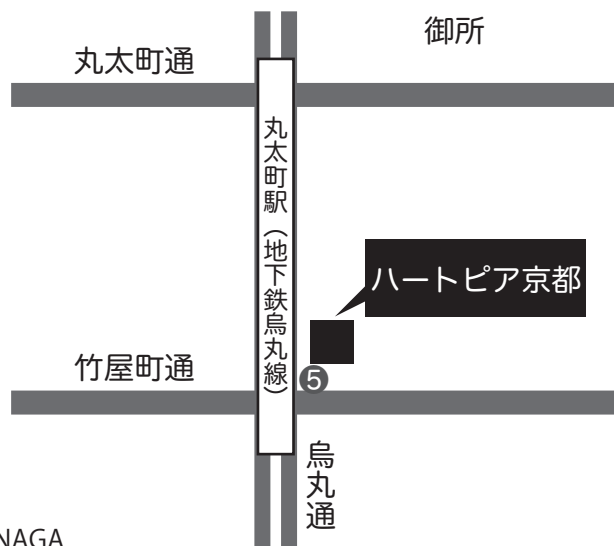
使い捨て時代を考える会 / アジェンダ・プロジェクト

協賛団体を一口3000円で募っております。
カンパも、よろしく願いたします。

口座番号: 01040-4-34953

加入者名: グリーン・アクション

通信欄に、協賛口数および団体名を記載してください。



主催: グリーン・アクション

京都市左京区田中関田町 22-75-103. E-mail: info@greenaction-japan.org

Tel: 075-701-7223 Fax: 075-702-1952 HP: http://www.greenaction-japan.org/

8月30日(木)・31日(金) / 東京大学駒場キャンパスにて、

シンポジウム「福島原発で何が起きたか—安全神話の崩壊」

http://www.kk-heisa.com/20120830/